



いろいろな先生との充実した道德の時間

9月～10月にかけて、担任の先生以外の先生で道德の時間を持ちました。校長先生をはじめ、教頭先生、各学年主任の先生、副担任の先生などが、各クラスを順番に回り、授業を行っています。たくさんの先生と共に、様々な道德的問題について考えることができ、普段とは違う雰囲気生徒たちはたいへん新鮮な様子でした。「今日はどの先生が来るの？」と聞いてくる生徒がたくさんいて、道德の時間を心待ちにしてくれていたことは、本当にうれしく思います。授業をして下さった先生方も、学級によって反応が様々で、いろんな意見が出てきたことがたいへんよかったということでした。生徒も教師も、お互いに有意義な時間が過ごせたと思います。

3年生は、すでに9月14日、21日、28日に3クラスとも終了しました。南村先生が「天使が舞い降りた朝」、杉田先生が「りんごの何を食べるのか」、嶋崎先生が「涙のわけ」という資料を用いて、授業をして下さいました。裏面に、用いた資料の一部を掲載しましたので、ぜひご一読ください。

それでは、今回は3年生の感想を中心に、みなさんに紹介したいと思います。(次回は、1、2年生の感想を紹介したいと思います。)

3年生

「天使の舞い降りた朝」南村先生

テーマ：生命尊重

主人公は母が末期の乳がんであることを知り、残された母との時間をどのように生きたらいいかを真剣に考え始める。自分の中に母の命が、息づいていることに目覚め、互いの命を支え合いながら精一杯生きようとする。はじめて「あたりまえのありがたさ」に気付いた主人公が、夢に向かい、他者と支え合いながら生きていく姿を通して、命の大切さについて考えました。

- 人は大切な人のために、大切なもののために生きているんだと思います。生きていく上で、必ず人が関わっていると思います。人と人が支えあっている。だから、生きている理由もあると思いました。
- いつもそばにいてくれて支えてくれたりしている親がなくなったことはすごく悲しいし、辛い思いになると思います。歌もきいたけど、すごくよい歌で感動しました。



「りんごの何を食べるのか」 杉田先生

テーマ：美しい生活習慣

「りんごを食べるとき、信州や青森の、冬の雪や春の花、夏の太陽の照り返し、秋口の雨や風、そういうものを、その一つのりんごに味わうのが、ほんとうの食べ方だ。」筆者はいう。いやしいぜいたくもあるし、美しいぜいたくもある。冷たいケチもあるし、暖かい儉約もある。筆者の考えから、調和のある生活の豊かさについて考えました。

- 私は買い物に行った時、どこかへ遊びに行った時、両親にいろいろな物を買ってもらっていました。買ってもらったとき、当時はとても喜んで、いつも肌身はなさず、持っていた覚えもあります。けれど、今となっては存在を忘れていた物やそこにあるのが、さも当たり前のようになりつつあるものもあり、当時の感謝や喜びを忘れてしまっていることがあります。けれど、今日学び直してみても、本当の「豊か」というのは感謝の気持ちやありがたみを忘れず、使う度に買ってくれた相手やもらった相手のことを思ってみる、というのが重要だなと思いました。今まで気付くことができなかったことに気付かせてくれたこの話に私は感謝したいと思います。
- 「豊か」と聞いて社会の授業とかでよく出てくる金銭面の「豊か」がすぐに出てきたけど、本当に「豊か」であるかどうかは1つ1つの生活にどんな思いを抱いて過ごしているかなんだと思います。



「涙のわけ」 嶋崎先生

テーマ：個性の伸長

涙はいろいろなときに流れる。どんなときに「涙」が流れるのか。悲しいとき、感動したとき、笑い転げたとき、辛いとき、しんどいとき、一生懸命なとき・・・自分の気持ちに素直になり、喜びや悲しみを感じる経験をする事の大切さをみんなで考えました。



- 人は涙をこぼして成長していくんだと思いました。そして涙は人と分かち合える。嬉しいとき、悲しいとき、悔しいとき、こういうときに涙をだすとみんなが支えてくれるから、悔しいときは特に周りの人が支えてくれるか、次の試合とかの時に自分の強さがはっきりでるんだと思います。だから、「涙」という文字はすごくいい言葉だと思いました。
- 人は泣くことで強くなれるし、一度も泣いたことのない人なんていないと思います。大人になって、いい年になってなくことは恥ずかしいことではないし、自分の感情に素直になって、生きていけるのってすごくよいことじゃないかと思いました。
- 今まで涙を流すことはいけない、はずかしいと考えていたこともあったけど、そうではなく、とても大事なことでいいなと思いました。そして、涙が出るということはそれくらい、一生懸命できたり、感動的なものになった証なのではないかと思うし、これからも、涙があふれるような色々な場面に出会えたらいいなと思います。